『Karaden for Salesforce 初期設定マニュアル』

2026 年 10 月 9 日
NTT ドコモビジネス X 株式会社

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

目次

1. 前提条件・本書の説明範囲 3
1.1. 前提条件 3
1.2. 本書の説明範囲 3
2. 初期設定手順 4
2.1. SMS 設定の編集（認証設定） 5
2.2. リモートサイト設定 8
2.3. 送信ボタン配置（キャンペーン） 10
2.4. 送信ボタン配置（その他オブジェクト） 15
2.5. 共通権限セット設定 25
2.6. 権限セットグループ設定とユーザー割り当て 31
2.7. バッチ設定 36
3. 問合せ先 42
4. 改訂履歴 43

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

1. 前提条件・本書の説明範囲

1.1. 前提条件

・以下から『トライアル＆商用申込マニュアル』を入手し、その手順に従って申込を進め、その作業の中で本書（初期設定マニュアル）をご利用ください。

AppExchange ストアで「Karaden for Salesforce」のページを開きます。
https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=3ed34026-4ffb-439f-af59-f3c7f7a29426

AppExchange ストア下部の「**詳細**」を押下し、さらに**下部へスクロール**します。
「リソース＆ドキュメント」から 『トライアル＆商用申込マニュアル』と『本書（初期設定マニュアル）』をダウンロードできます。



・アプリインストールおよび初期設定は Salesforce の「システム管理者」で実行してください。
そのほかのユーザーで実行した場合、適切な権限の割り当てがないとエラーとなる場合があります。

1.2. 本書の説明範囲

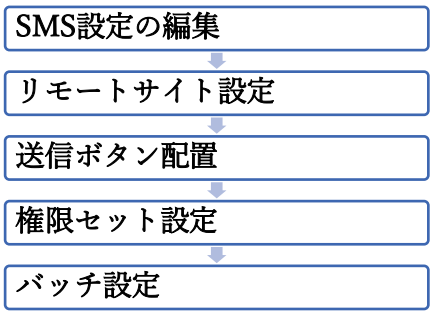
Karaden for Salesforce のお申込みステップは以下の通りです。
本書では、Salesforce 組織における、AppExchange アプリの設定手順をご案内します。
トライアル（Sanbdox）環境、商用環境どちらの設定でもお使いいただけます。

STEP01　AppExchangeアプリインストール
↓
STEP02 Karaden SMS APIトライアル開通
↓
STEP03 AppExchangeアプリ初期設定
↓
STEP04 Karaden SMS API商用化設定
↓
STEP05 AppExchangeアプリ商用化設定
↓
STEP06 お申込書の提出・ご契約

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2. 初期設定手順

お客様の Salesforce 組織で、以下の初期設定が必要です。
各設定は Karaden をインストールした Salesforce 組織にログインして行います。



- **SMS 設定の編集**
  Karaden SMS API への接続のため認証情報を設定します。

- **リモートサイト設定**
  お客様の Salesforce 組織から Karaden API の URL にアクセスできるようにします。

- **送信ボタン配置**
  お客様の Salesforce 組織のオブジェクトへ、SMS 送信ボタンを配置します。

- **権限セット設定**
  SMS 送信を行う Salesforce のユーザーに、「KaradenSMS ユーザ（manager もしくは user）」の権限セットを付与します。

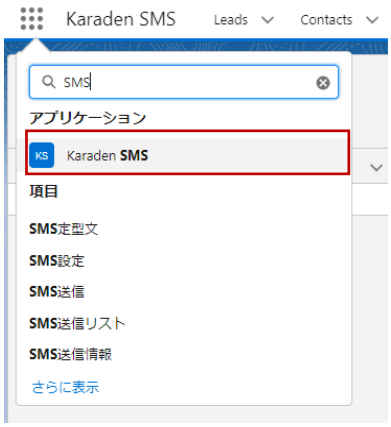
- **バッチ設定**
  SMS 予約送信、SMS 結果取得のバッチ処理をスケジューリングします。

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.1. SMS 設定の編集（認証設定）

2.1.1. 「SMS 設定」を開く

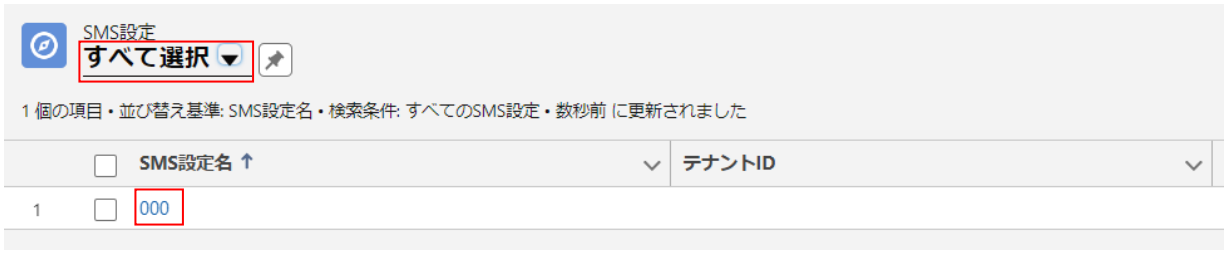
① Salesforce のアプリケーションランチャーから「Karaden SMS」を開く



② ヘッダーから「SMS 設定」を開く

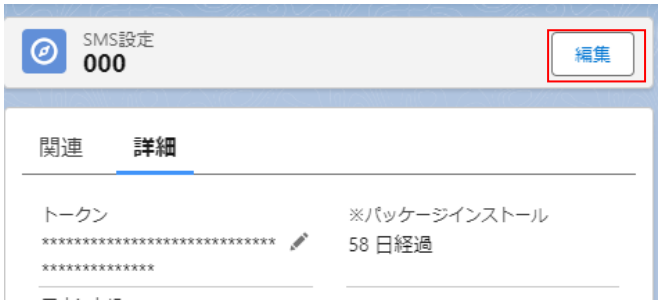


③ SMS 設定名を開く
SMS 設定は組織ごとに一つだけ存在し、インストール時に自動で作成されます。



※表示されない場合は「最近参照したデータ」を「すべて選択」へ変更してください。

④ SMS 設定名を開き、「編集」を開きます。



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.1.2. 「SMS 設定」の編集

＜SMS 設定 項目一覧＞

No	項目名	必須	概要
1	トークン		Karaden への接続情報です。
2	パッケージインストール		Karaden SMS がインストールされてからの経過日数が表示されます。 この項目は自動で計算され、編集できません。
3	テナント ID		Karaden への接続情報です。
4	API バージョン		Karaden への接続情報です。
5	サービス設定 ID		Karaden への接続情報です。
6	送達結果 初回反映時間（分）	○	SMS 結果取得バッチの実行間隔です。 SMS 送信後、初回の結果取得を実行します。
7	送達結果 再取得間隔（分）	○	SMS 結果取得バッチの実行間隔です。 「送達結果 初回反映バッチ」で結果が確定しなかった送信に対して、結果の再取得を実行します。
8	予約送信 実行間隔（分）	○	SMS 予約送信バッチの実行間隔です。
9	オブジェクト API 名①～⑤	○	送信先電話番号の登録されたオブジェクトです。 **①は CampaingMember で固定となります。②～⑤に任意のオブジェクトを登録できます。**
10	オブジェクト名①～⑤	○	※オブジェクト名を編集しても、オブジェクト API に紐づく値で上書きされます。
11	電話番号項目①～⑤	○	**オブジェクトに登録された、送信先電話番号項目となる項目 API 名を指定します。** 複数の場合はカンマ区切りで入力します。先頭から優先的に携帯電話番号の抽出判定を行います。

① SMS 接続情報を編集
Karaden SMS API より取得した、以下の項目の値を入力します。

- トークン
- テナント ID
- API バージョン
- サービス設定 ID



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

② 電話番号項目を編集

SMS の宛先に利用する、以下の項目の値を入力します。

- オブジェクト API 名②～⑤
- 電話番号項目②～⑤

※全項目を埋める必要はありません。SMS の宛先として利用する分だけで登録してください。



③ 編集内容に誤りがないことを確認し、「保存」を押下します。

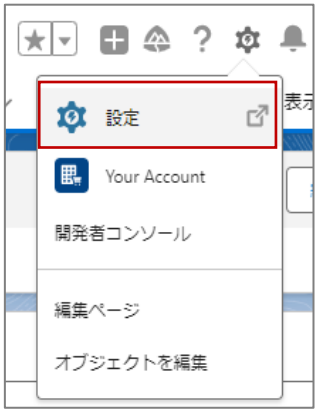


Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.2. リモートサイト設定

2.2.1. 設定画面の「リモートサイトの設定」を開く

① 設定画面を開く

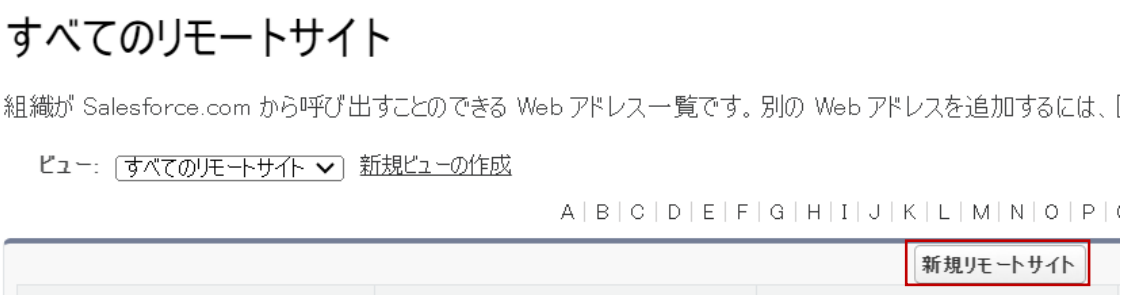


② 「リモートサイトの設定」を開く



2.2.2. 新規リモートサイトの登録

① 新規リモートサイトの登録画面を開く
「新規リモートサイト」ボタンを押下する。



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

② リモートサイトの編集
以下の値を入力します。

No	項目名	必須	設定値・チェック有無
1	リモートサイト名	○	KaradenSMS
2	リモートサイトの URL	○	https://prg.karaden.jp
3	プロトコルセキュリティの無効化		チェック OFF
4	説明		（任意入力）
5	有効	○	チェック ON



③ リモートサイトの保存
「保存」ボタンを押下します。



入力した値が正しく反映されていることを確認します。
リモートサイトの URL に誤りがあると SMS 送信がエラーとなるためご注意ください。



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

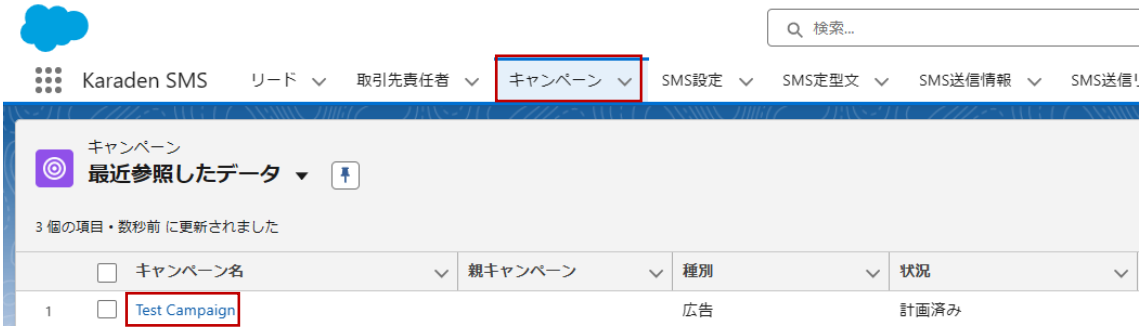
2.3. 送信ボタン配置（キャンペーン）

キャンペーンメンバーへの送信ボタンは、キャンペーンページに配置します。
※「キャンペーンメンバー」への SMS 送信を利用しない場合は本項目はスキップできます。

2.3.1. 「グループSMS 送信」ボタンの配置

2.3.1.1. 動的アクションへの送信ボタン配置

① キャンペーンの任意のレコードページを開く

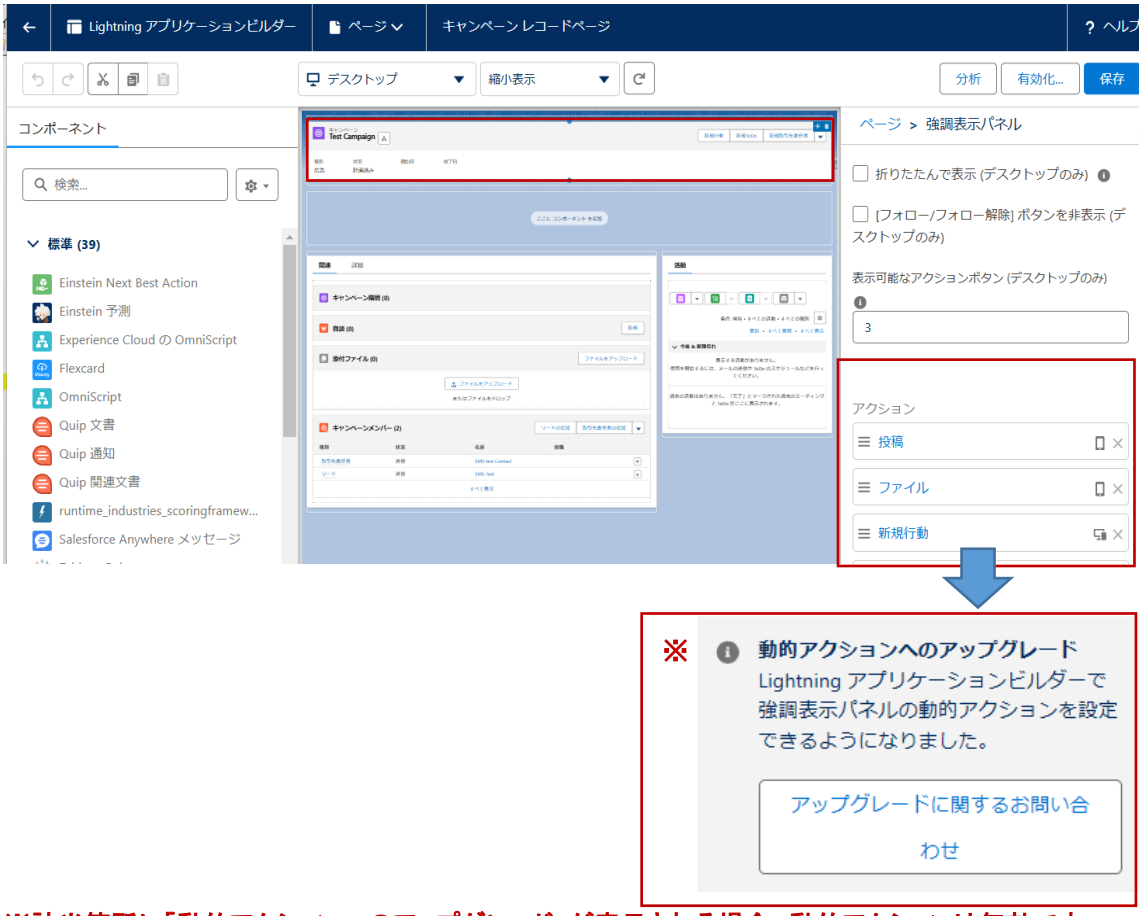


② 設定メニューの「ページを編集」を開く



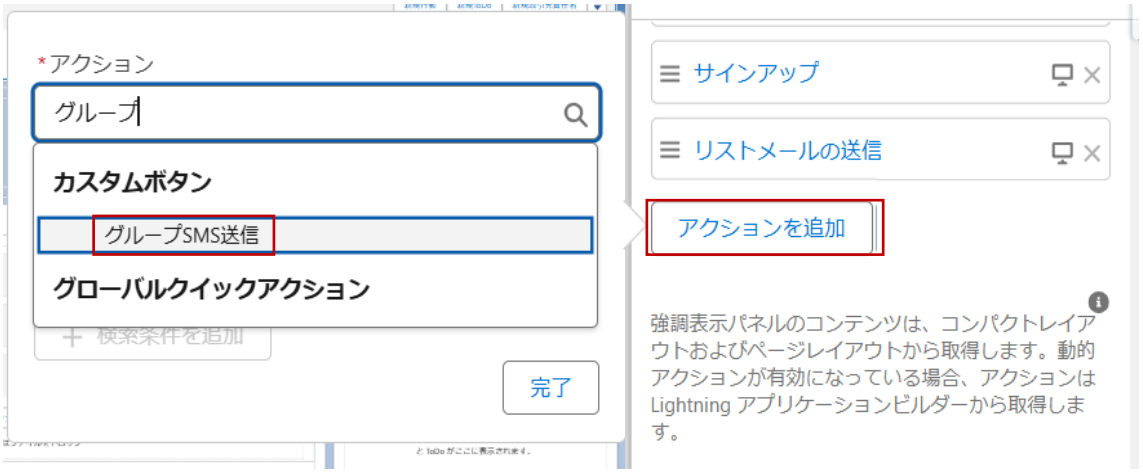
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

③ 上部コンポーネントの強調表示パネルを選択



※該当箇所に「動的アクションへのアップグレード」が表示される場合、動的アクションは無効です。
本項目はスキップし、『ページレイアウトへの送信ボタン配置』に進んでください。

④ 「アクションを追加」から「グループ SMS 送信」ボタンを追加



⑤ 「保存」を押下

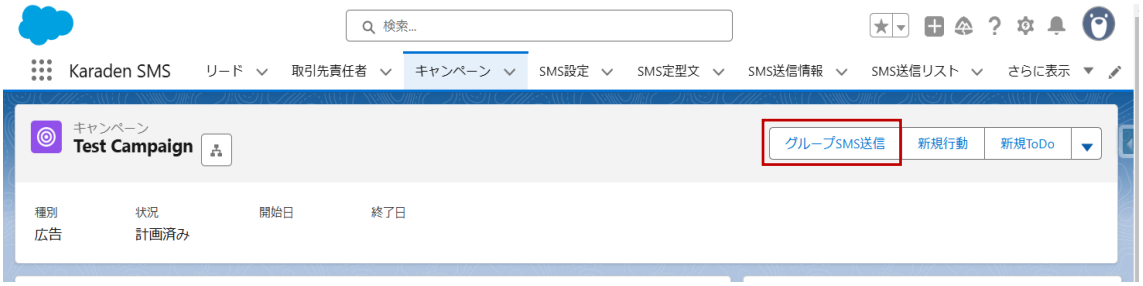
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑥ 「←」を押下して戻る



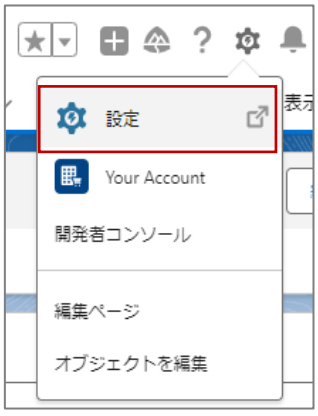
⑦ 「グループ SMS 送信」が追加されていることを確認



2.3.1.2. ***ページレイアウトへの送信ボタン配置***

※前項『動的アクションへの送信ボタン配置』でボタン配置できた場合、本項目はスキップできます。

① 設定画面を開く



② 「オブジェクトマネージャー」の「キャンペーン」を開く

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



③ 「ページレイアウト」を開く



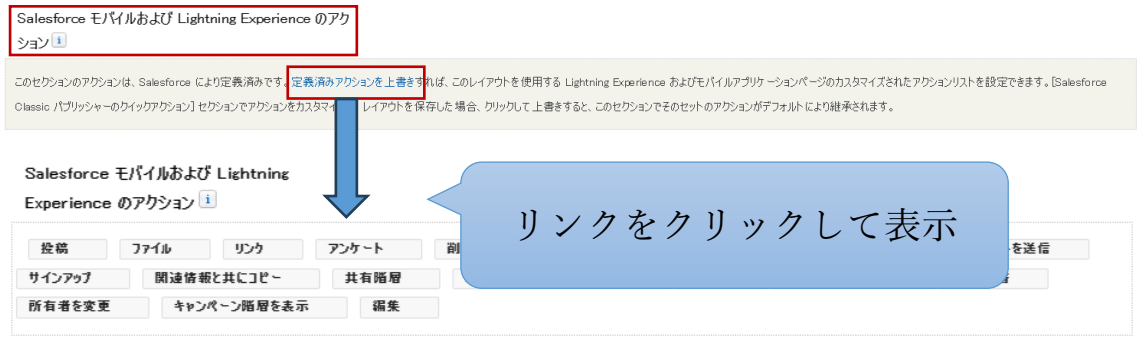
④ 「キャンペーン レイアウト（Campaign Layout）」を開く



⑤ 「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション」の「定義済みアクションを上書き」を開く

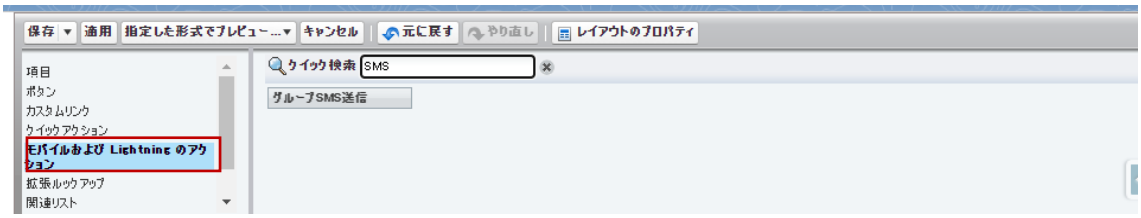
※取引先責任者のオブジェクトマネージャー画面で下にスクロールすると該当のリンクがあります。

※すでに該当のボタン一覧が表示されている場合はこの手順は不要です。



⑥ 「モバイルおよび Lightnig のアクション」を選択

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑦　グループ SMS 送信ボタンの配置

クイック検索に「SMS」と入力し、「グループ SMS 送信」を選択し、ドラッグ＆ドロップします。

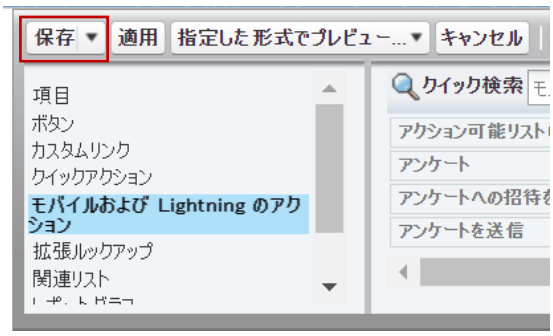


⑧　グループ SMS 送信ボタンの確認

グループ SMS 送信が追加されたことを確認します。



⑨　「保存」ボタンを押下



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.4. 送信ボタン配置（その他オブジェクト）

SMS 設定の編集で指定した「オブジェクト API 名②～⑤」それぞれに本項目の手順を繰り返します。
「オブジェクト API 名①」の「キャンペーンメンバー」は前項で実施済みのため設定不要です。

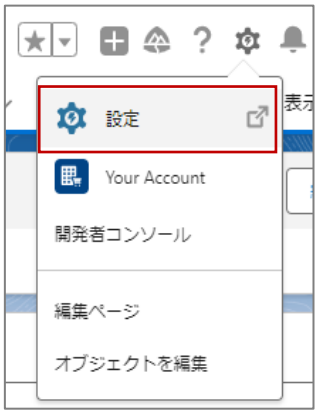
本書内のキャプチャ画像にはケースを例として用います。

2.4.1. 送信ボタンの作成

2.4.1.1. 「個別 SMS 送信」ボタンの作成

「リード」「取引先責任者」の送信ボタンは作成不要のため本項目はスキップしてください。

① 設定画面を開く



② 「オブジェクトマネージャー」の対象オブジェクトを開く



③ オブジェクトマネージャーの「ボタン、リンク、およびアクション」を開く

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



④ 「新規ボタンまたはリンク」を押下



⑤ 以下の項目を編集します。
※大文字小文字含め正確に記入してください。

- 表示ラベル：個別 SMS 送信
- 名前：SMSSendButtonNew
- 表示種別：詳細ページボタン
- 動作：新規ウィンドウに表示
- コンテンツソース：URL
- 差し込み項目のテキスト欄：/apex/KaradenSMS__SMSRedirect?id={!**Case**.Id}
  ※赤字の API 参照名部分はオブジェクトにより異なります。設定対象のオブジェクトの API 参照名に変えてご記入ください。

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑥ 「保存」ボタン押下後、「OK」ボタンを押下します。





2.4.1.2. 「グループ SMS 送信」ボタンの作成

「リード」「取引先責任者」の送信ボタンは作成不要のため本項目はスキップしてください。

① オブジェクトマネージャーの「ボタン、リンク、およびアクション」を開く



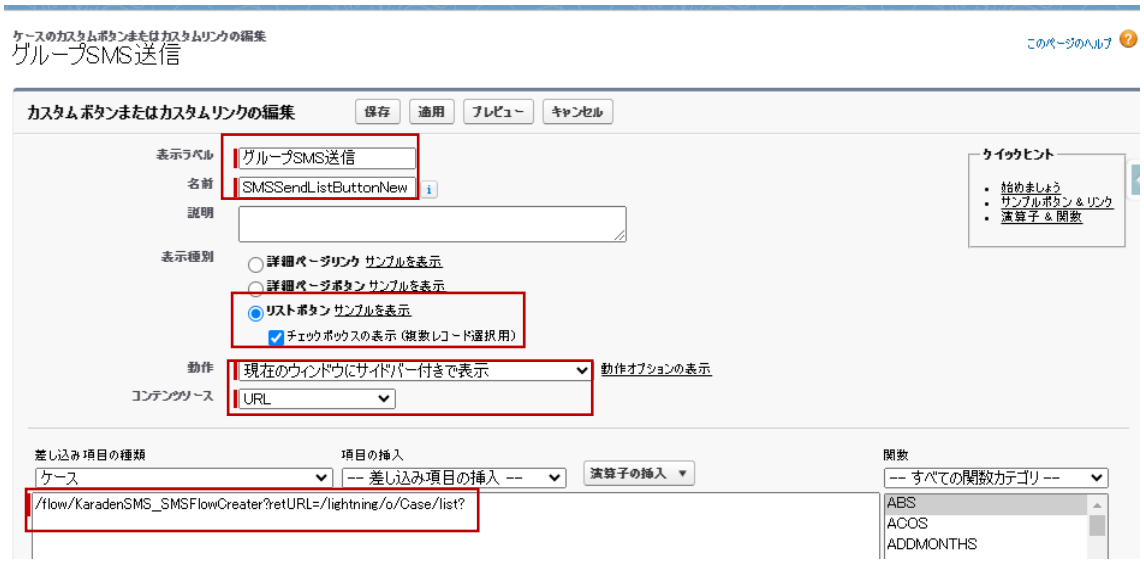
② 「新規ボタンまたはリンク」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



③ 以下の項目を編集
※大文字小文字含め正確に記入してください。

- 表示ラベル：グループ SMS 送信
- 名前：SMSSendListButtonNew
- 表示種別：リストボタン
- チェックボックスの表示（複数レコード選択用）：チェック
- 動作：新規ウィンドウにサイドバー付きで表示
- コンテンツソース：URL
- 差し込み項目のテキスト欄：
  /flow/KaradenSMS__SMSFlowCreater?retURL=/lightning/o/**Case**/list?
  ※赤字の API 参照名部分はオブジェクトにより異なります。設定対象のオブジェクトの API 参照名に変えてご記入ください。



④ 「保存」ボタン押下後、「OK」ボタンを押下します。



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.4.2. 「個別 SMS 送信」ボタンの配置

2.4.2.1. 動的アクションへの送信ボタン配置

① 対象オブジェクトの任意のレコードページを開く

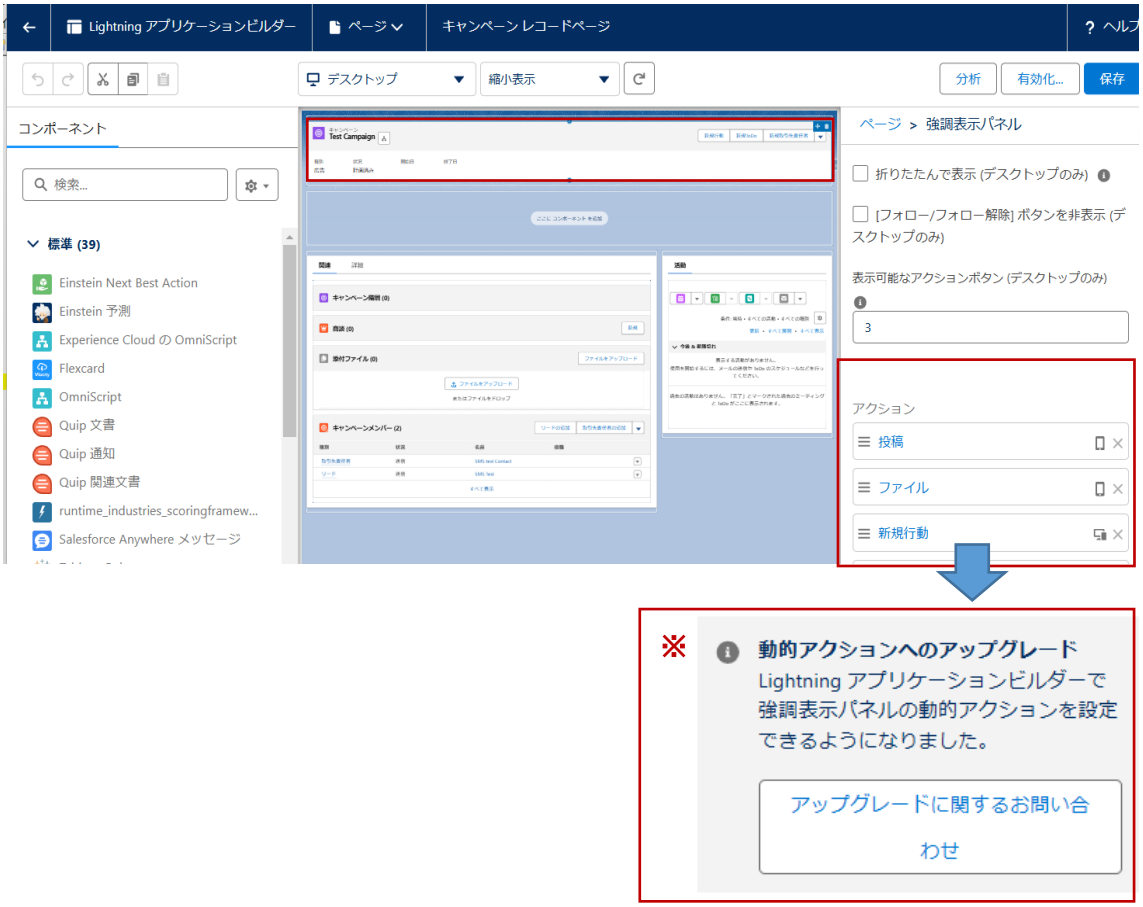


② 設定メニューの「ページを編集」を開く



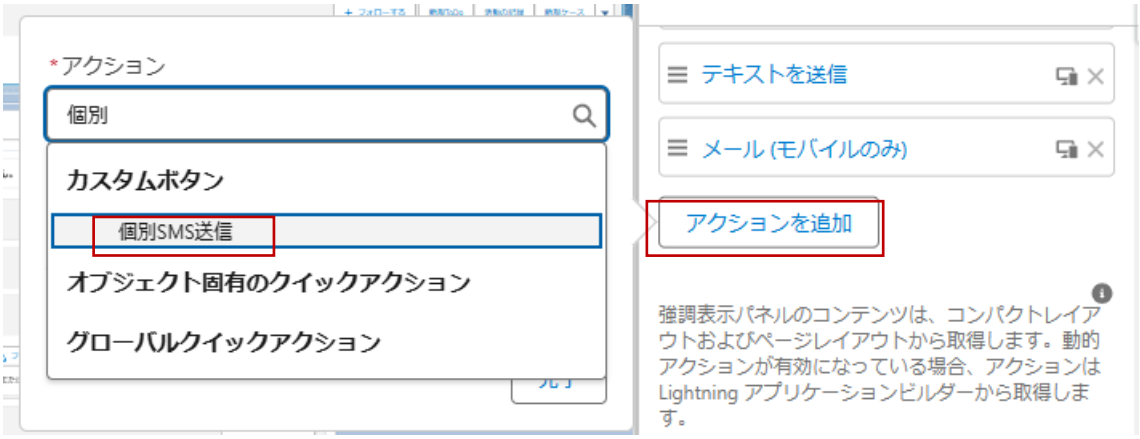
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

③ 上部コンポーネントの強調表示パネルを選択



※該当箇所に「動的アクションへのアップグレード」が表示される場合、動的アクションは無効です。
本項目はスキップし、『ページレイアウトへの送信ボタン配置』に進んでください。

④ 「アクションを追加」から「個別 SMS 送信」ボタンを追加



⑤ 「保存」を押下

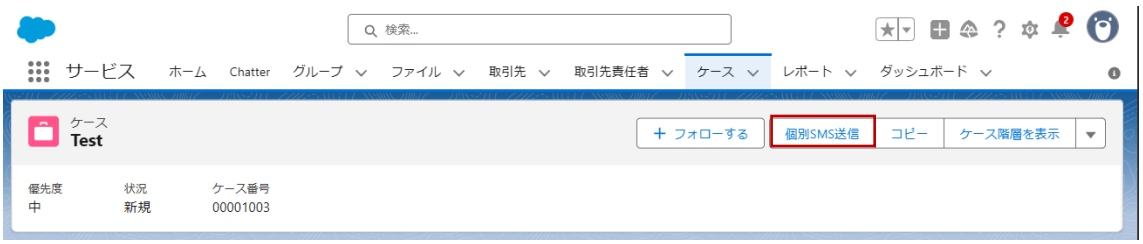
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑥ 「←」を押下して戻る



⑦ 「個別 SMS 送信」が追加されていることを確認



2.4.2.2.　ページレイアウトへの送信ボタン配置

※前項『動的アクションへの送信ボタン配置』でボタン配置できた場合、本項目はスキップしてください。

① オブジェクトマネージャーの「ページレイアウト」を開く



② レイアウト名を選択して開く

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



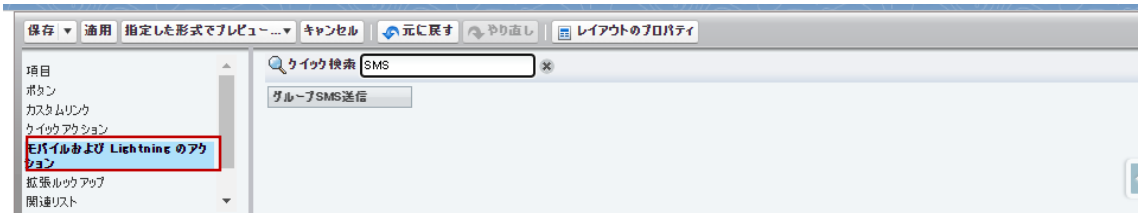
③ 「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション」の「定義済みアクションを上書き」を開く

※取引先責任者のオブジェクトマネージャー画面で下にスクロールすると該当のリンクがあります。

※すでに該当のボタン一覧が表示されている場合はこの操作は不要です。

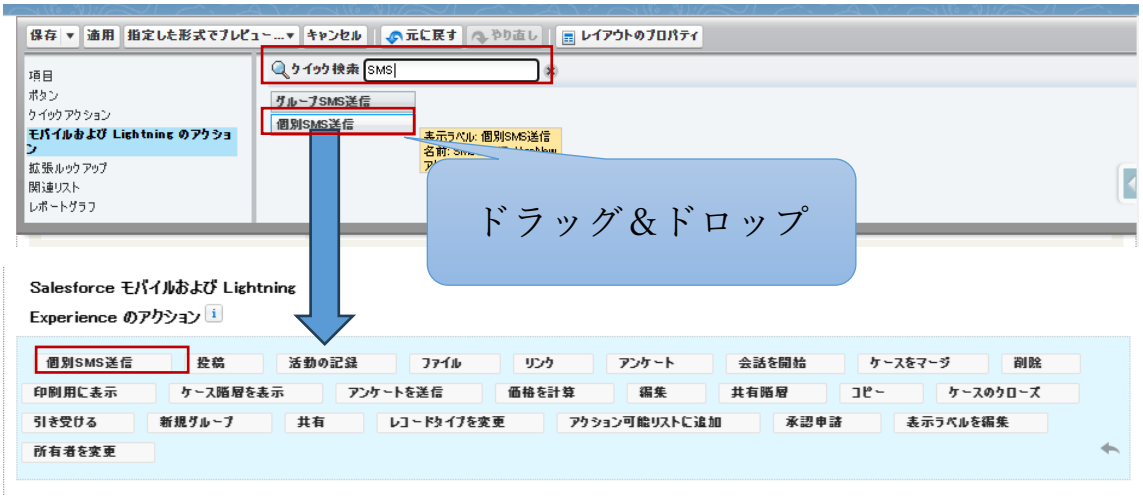


④ 「モバイルおよび Lightnig のアクション」を選択



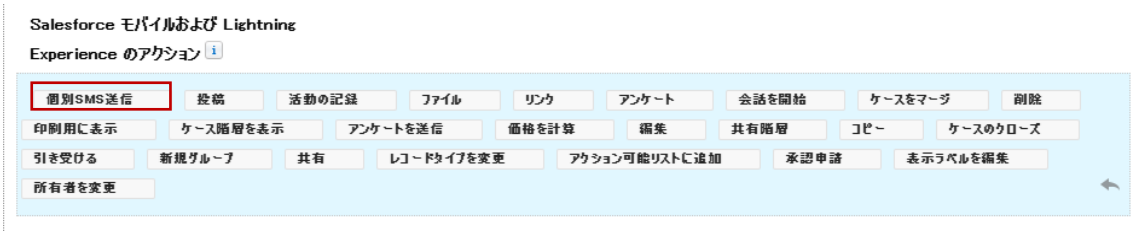
⑤ 個別 SMS 送信ボタンの配置

クイック検索に「SMS」と入力し、「個別 SMS 送信」を選択し、ドラッグ＆ドロップします。

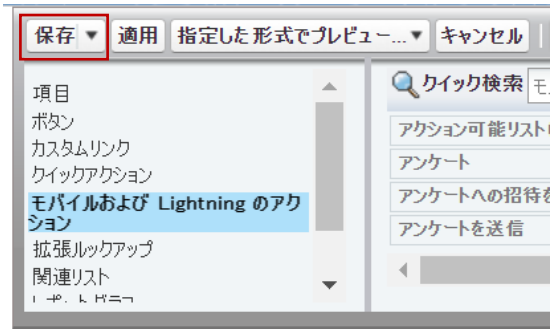


Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

⑥ 個別 SMS 送信ボタンの確認
個別 SMS 送信が追加されたことを確認します。



⑦ 「保存」ボタンを押下



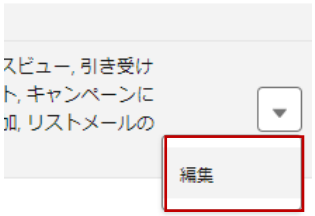
2.4.3. 「グループSMS 送信」ボタンの配置

2.4.3.1. リストビューボタンレイアウトへの送信ボタン配置

① オブジェクトマネージャーから「リストビューボタンレイアウト」を開く

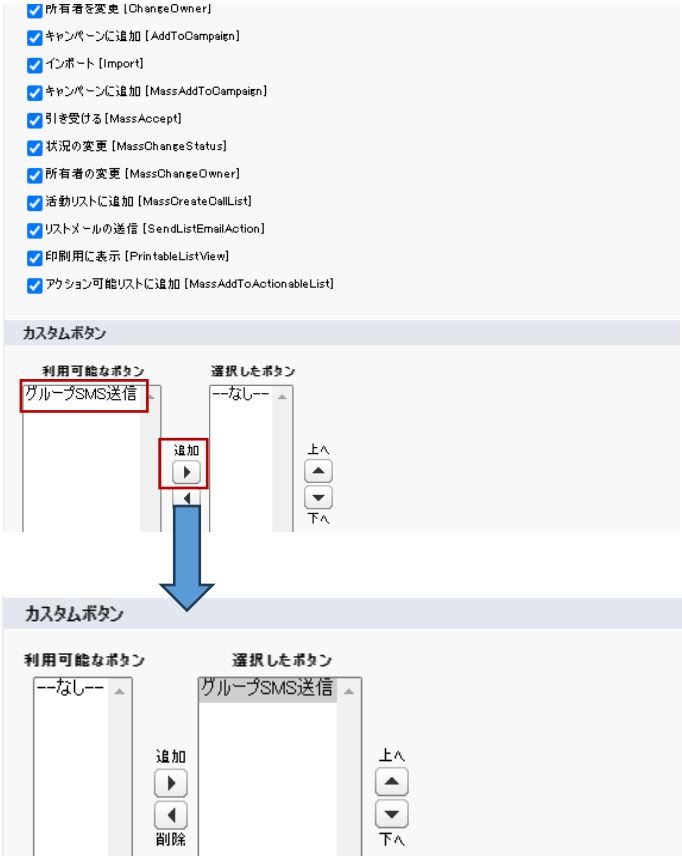


② リストビューのメニューを開き「編集」を押下



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

③ 「グループ SMS 送信」を選択し「追加」を押下



④ 「保存」を押下



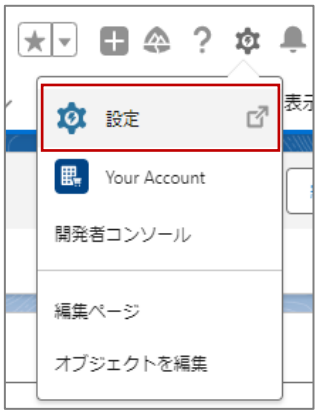
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.5. 共通権限セット設定

インストール後に付与が必要な権限を、権限セットを作成してまとめて付与します。

2.5.1. 共通権限セットを作成する

① 設定画面を開く



② 権限セットを開く



③ 「新規」を押下



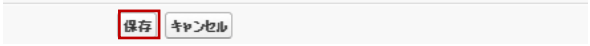
④ 以下の項目を設定

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



No	項目名	必須	設定値・チェック有無
1	表示ラベル	○	KaradenSMS 共通権限
2	API 参照名	○	Karaden_common
3	説明		任意の説明文
4	セッションの有効化が必要		チェック OFF
5	ライセンス		--なし--

⑤ 「保存」を押下



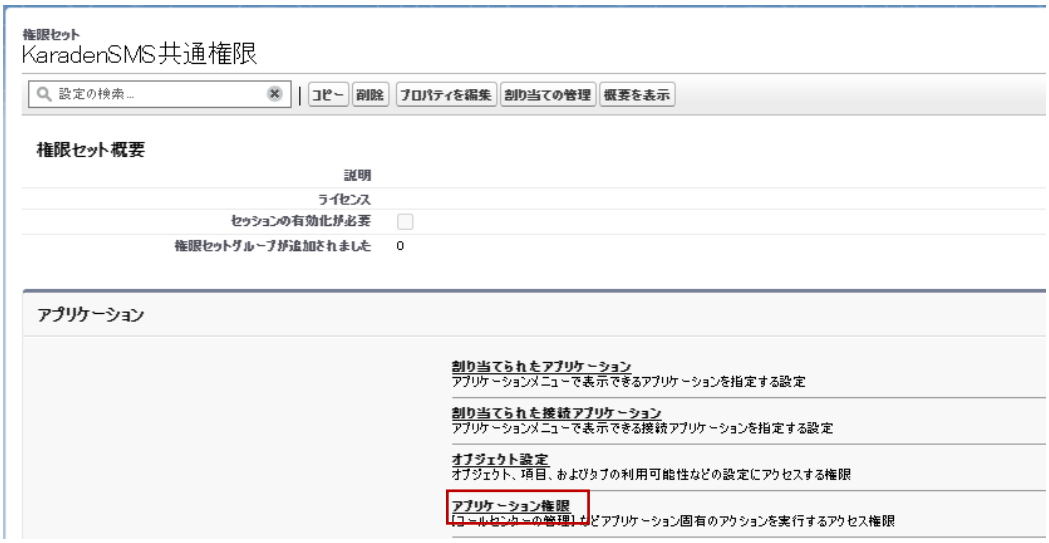
⑥ 権限セットが作成されたことを確認



2.5.2. *フローの実行権限を付与*

① 作成した権限セットの「アプリケーション権限」を開く

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



② 「編集」を押下



③ 「フローを実行」をチェック



④ 「保存」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑤ 「保存」を押下



⑥ 「フローを実行」にチェックがついていることを確認



2.5.3. *電話番号項目への参照権限付与*

SMS 設定の編集で指定した、「オブジェクト API 名①～⑤の電話番号項目①～⑤」それぞれに本項目の手順を繰り返してください。

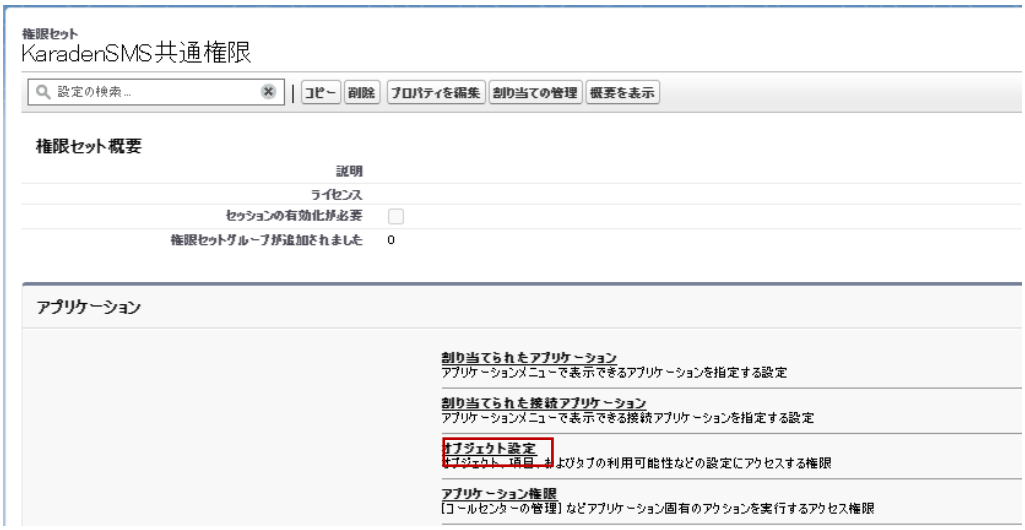
本書内のキャプチャはケースを例に用います。

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

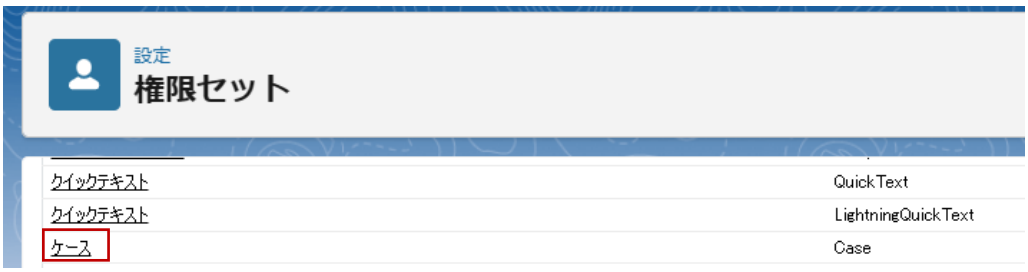
① 作成した権限セットの権限セット概要を開く



② 「オブジェクト設定」を開く



③ 設定対象のオブジェクト(オブジェクト API 参照名に紐づオブジェクト名)を開く



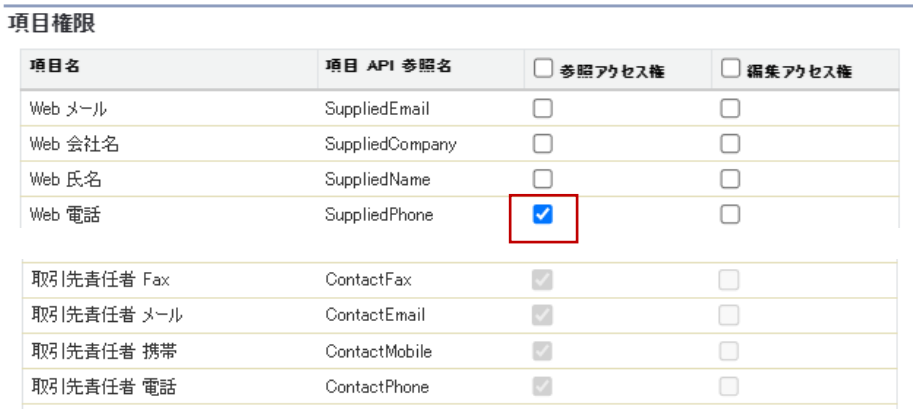
④ 「編集」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑤　電話番号項目として利用する項目の「参照アクセス権」をチェック

※関連オブジェクトの項目を利用する場合、関連オブジェクトの側で参照アクセス権を付与する必要があります。



⑥　「保存」を押下



⑦　電話番号項目として利用する項目に参照アクセス権がついていることを確認



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.6. 権限セットグループ設定とユーザー割り当て

KaradenSMS ユーザには「manager」と「user」の 2 種類の権限があります。

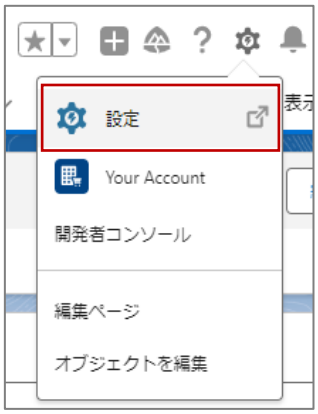
どちらも SMS 送信は可能ですが、「user」権限は SMS 設定の認証情報を編集できないなど、一部機能の制限があります。

初期設定で初めにご利用されるユーザーには「manager」権限の付与がおすすめです。
また、**システム管理者にも権限セットの付与は必要**なためご注意ください。

以降は manager 権限の権限セットグループの作成手順を示します。
user 権限も利用する場合は、manager を user に読み替えて同様の手順で権限セットグループの作成と割り当てをしてください。

2.6.1. 権限セットグループを作成する

① 設定画面を開く

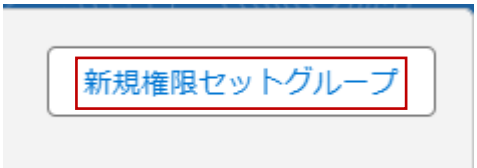


② 権限セットグループを開く



③ 「新規権限セットグループ」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



④ 以下の項目を設定

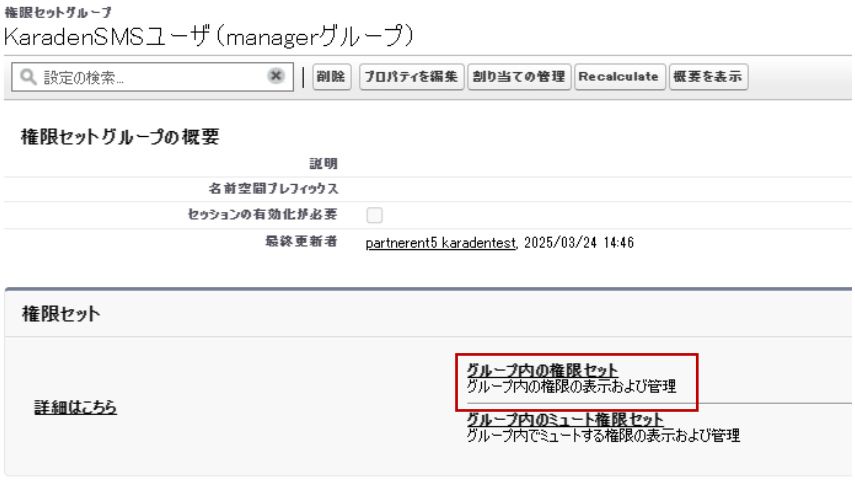


No	項目名	必須	設定値・チェック有無
1	表示ラベル	○	KaradenSMS ユーザ（manager グループ）
2	API 参照名	○	Karaden_manager_group
3	説明		任意の説明文
4	セッションの有効化が必要		チェック OFF

⑤ 「Save」を押下

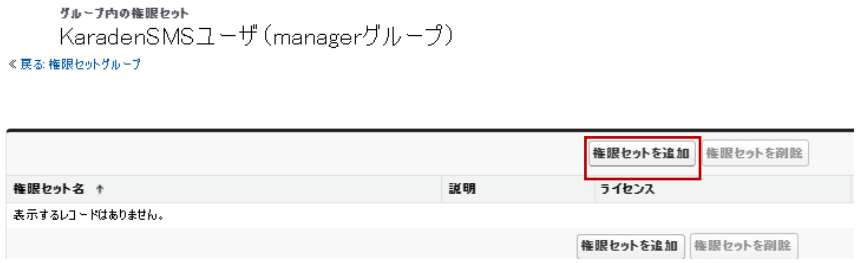


⑥ 「グループ内の権限セット」を開く

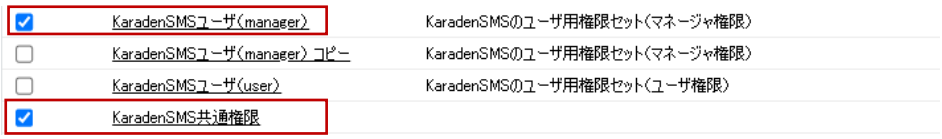


⑦ 「権限セットを追加」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



⑧ 「KaradenSMS ユーザ（manager）」と「KaradenSMS 共通権限」にチェック



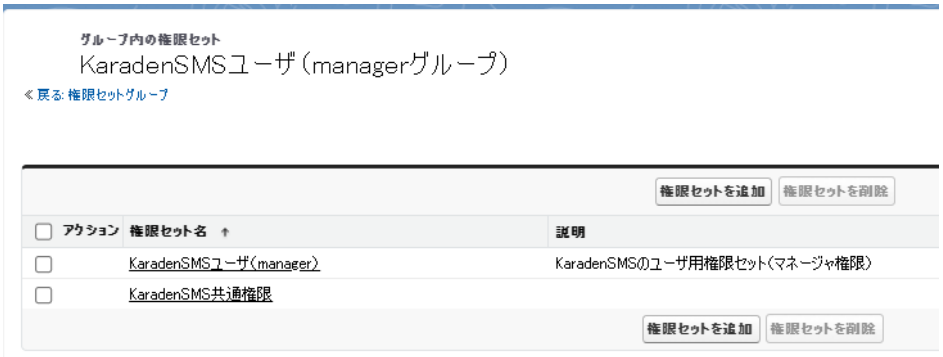
⑨ 「追加」を押下



⑩ 「完了」を押下



⑪ 権限セットグループに選択した権限セットが追加されたことを確認



2.6.2. *権限セットグループの割り当て*

① 権限セットグループを開く

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



② 作成した権限セットグループを開く



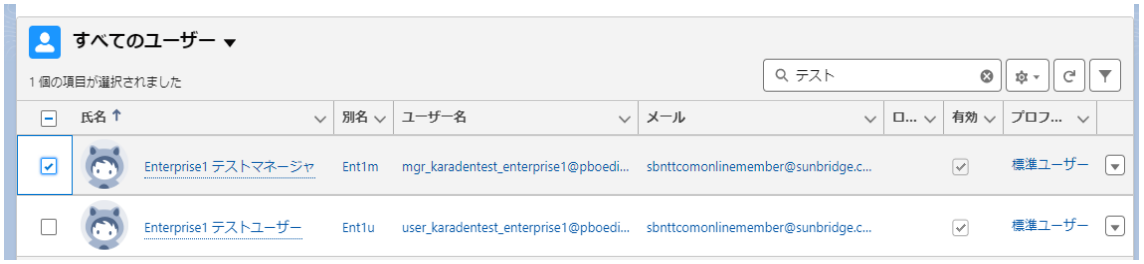
③ 「割り当ての管理」を押下



④ 「割り当てを追加」を押下

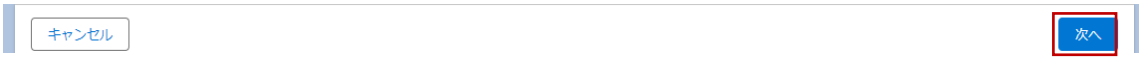


⑤ 権限セットを付与するユーザーを選択



⑥ 「次へ」を押下

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



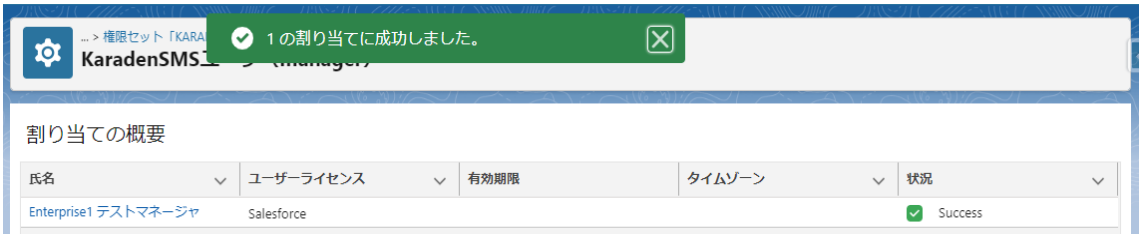
⑦　有効期限オプションを選択
「有効期限なし」がおすすめです。
権限が不要となったユーザーは、権限セットグループの割り上げを削除してください。



⑧　「割り当て」を押下



⑨　割り当ての確認
権限セットが正常に割り当てられたことを確認します。

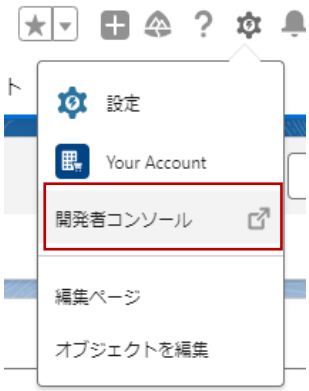


Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.7. バッチ設定

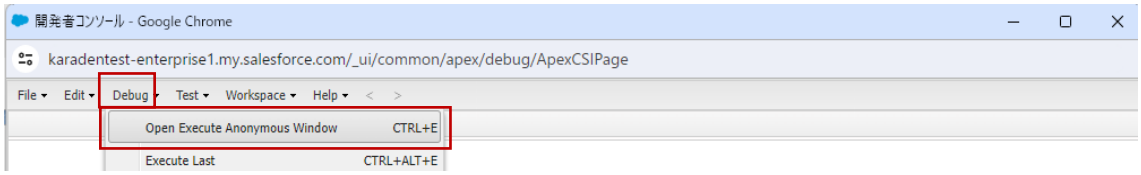
2.7.1. 開発者コンソールからバッチ設定 Window を開く

① 開発者コンソールを開く



※該当箇所に「開発者コンソール」がなく、「Web コンソール」が表示されている場合は設定手順が異なります。本項目及び次項目はスキップし、『2.7.3. Web コンソールからバッチ設定 Window を開く』に進んでください。

② 匿名実行ウィンドウを開く
「Debug＞Open Execute Anonymous Window」を開きます。



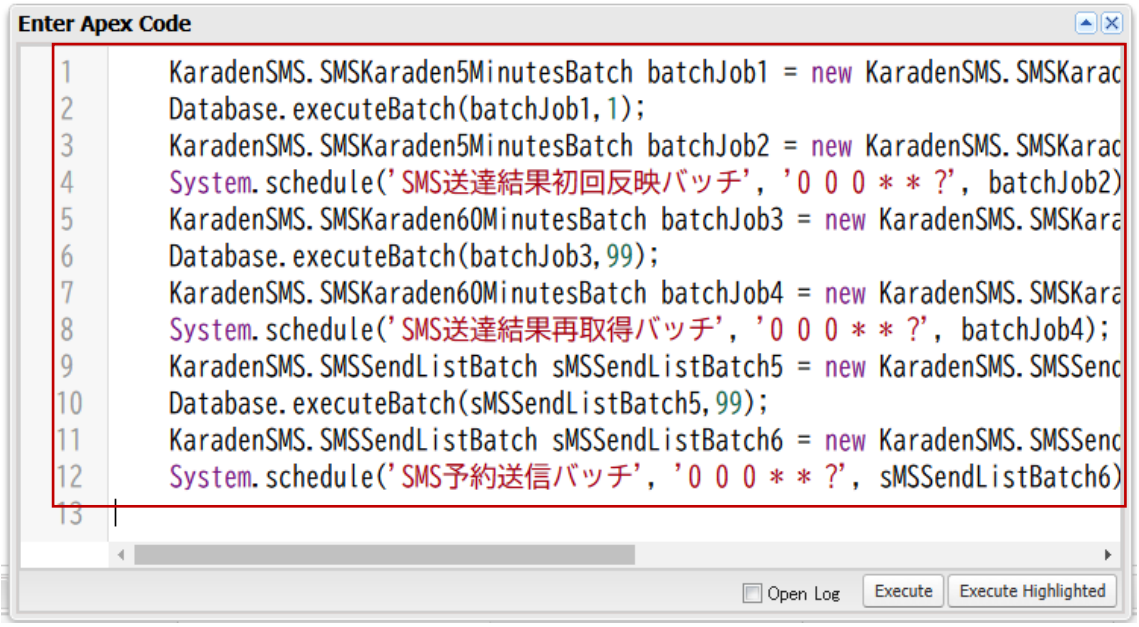
2.7.2. バッチ処理の登録（スケジューリング）

① EnterApexCode に実行コードを入力
以下の**計 12 行**の値を入力(コピー＆ペースト)します。
先頭「Karaden」から末尾の「;」まで漏れなくペーストされていることを確認してください。

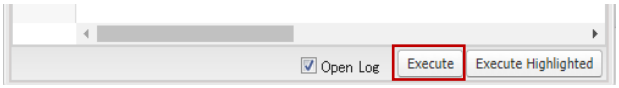
```
KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch batchJob1 = new KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch(1,datetime.now() , datetime.now().addHours(-9));
Database.executeBatch(batchJob1,1);
KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch batchJob2 = new KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch();
System.schedule('SMS 送達結果初回反映バッチ', '0 0 0 * * ?', batchJob2);
KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch batchJob3 = new KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch(Datetime.now());
Database.executeBatch(batchJob3,99);
KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch batchJob4 = new KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch();
System.schedule('SMS 送達結果再取得バッチ', '0 0 0 * * ?', batchJob4);
KaradenSMS.SMSSendListBatch sMSSendListBatch5 = new KaradenSMS.SMSSendListBatch();
Database.executeBatch(sMSSendListBatch5,99);
KaradenSMS.SMSSendListBatch sMSSendListBatch6 = new KaradenSMS.SMSSendListBatch();
```

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

```
System.schedule('SMS 予約送信バッチ', '0 0 0 * * ?', sMSSendListBatch6);
```

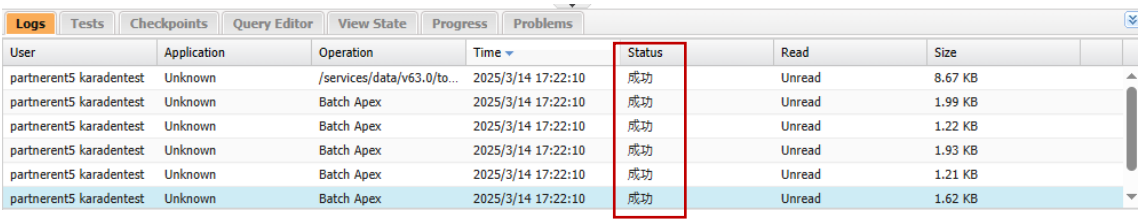


② Execute ボタンの押下



③ 実行結果の確認

「Logs」の「Status」がすべて「成功」となっていることを確認します。

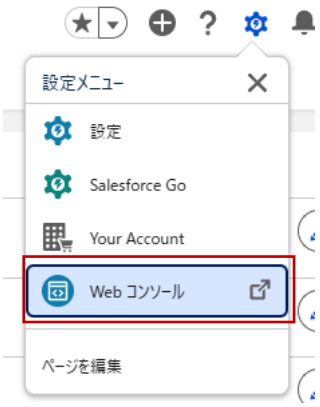


Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

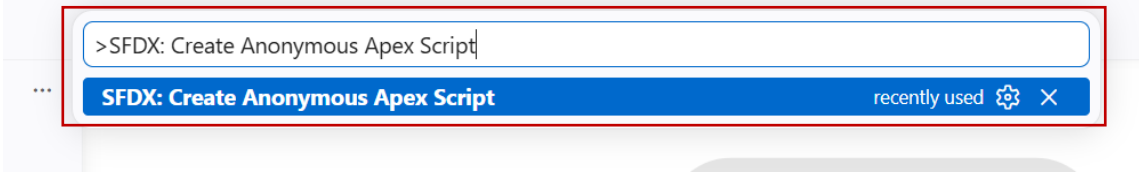
2.7.3. *Web コンソールからバッチ設定 Window を開く*

※前項『開発者コンソールからバッチ設定 Window を開く』で設定できた場合、本項目及び次項目はスキップしてください。

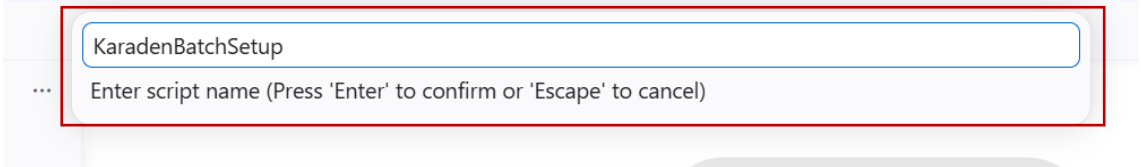
① Web コンソールを開く



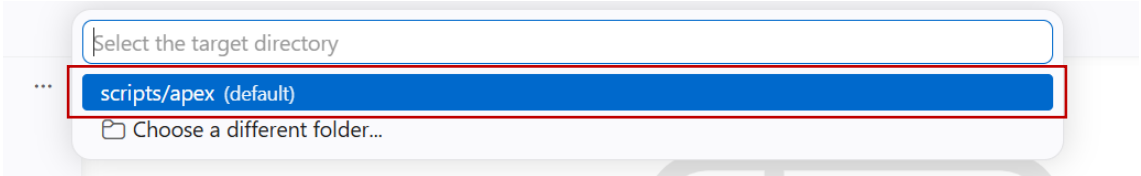
② 匿名実行ファイルの作成
画面上部の検索窓に「>SFDX: Create Anonymous Apex Script」を入力し、検索結果を選択します。



Enter script name と表示されますので、任意のファイル名を入力して「Enter」キーを押します。
(例：KaradenBatchSetup)



Directory の選択画面（select the target directory）が表示されたら、変更せずそのまま Enter キーを押します。
※標準で scripts/apex が選択されます。任意のフォルダでも問題ありません）



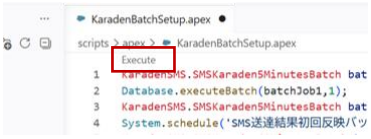
2.7.4. *バッチ処理の登録（スケジューリング）*

① 実行コードを入力
前項目の②で作成したファイルに以下の**計 12 行**の値を入力(コピー＆ペースト)します。
先頭「Karaden」から末尾の「;」まで漏れなくペーストされていることを確認してください。

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

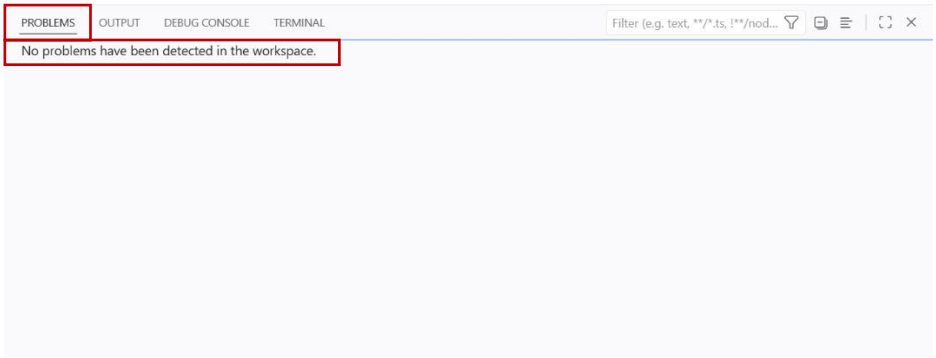
```
KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch batchJob1 = new KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch(1,datetime.now() , datetime.now().addHours(-9));
Database.executeBatch(batchJob1,1);
KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch batchJob2 = new KaradenSMS.SMSKaraden5MinutesBatch();
System.schedule('SMS 送達結果初回反映バッチ', '0 0 0 * * ?', batchJob2);
KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch batchJob3 = new KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch(Datetime.now());
Database.executeBatch(batchJob3,99);
KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch batchJob4 = new KaradenSMS.SMSKaraden60MinutesBatch();
System.schedule('SMS 送達結果再取得バッチ', '0 0 0 * * ?', batchJob4);
KaradenSMS.SMSSendListBatch sMSSendListBatch5 = new KaradenSMS.SMSSendListBatch();
Database.executeBatch(sMSSendListBatch5,99);
KaradenSMS.SMSSendListBatch sMSSendListBatch6 = new KaradenSMS.SMSSendListBatch();
System.schedule('SMS 予約送信バッチ', '0 0 0 * * ?', sMSSendListBatch6);
```

② Execute ボタンの押下



③ 実行結果の確認

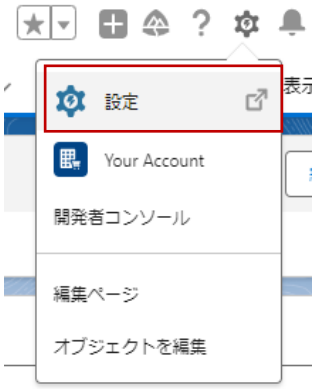
画面下部の「PROBLEMS」タブを開き、「No problems have been detected in the workspace.」と表示されていることを確認します。
(※エラーがある場合は赤アイコンでエラー内容が表示されます)



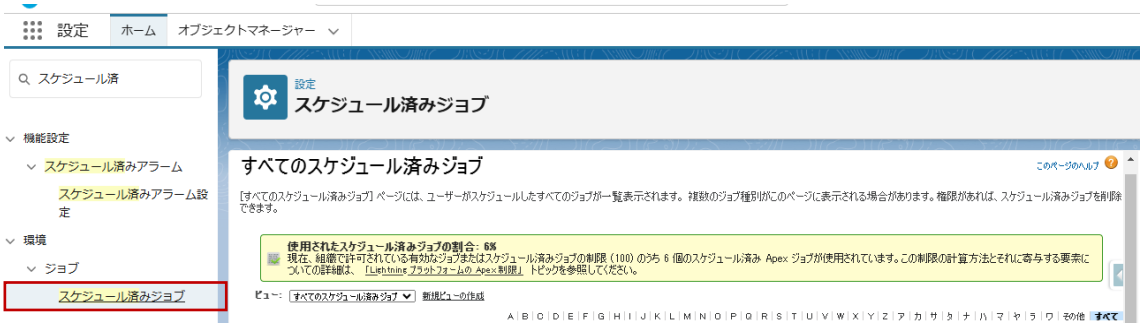
Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

2.7.5. *スケジュール済みジョブの確認*

① 設定画面を開く



② 「スケジュール済みジョブ」を開く

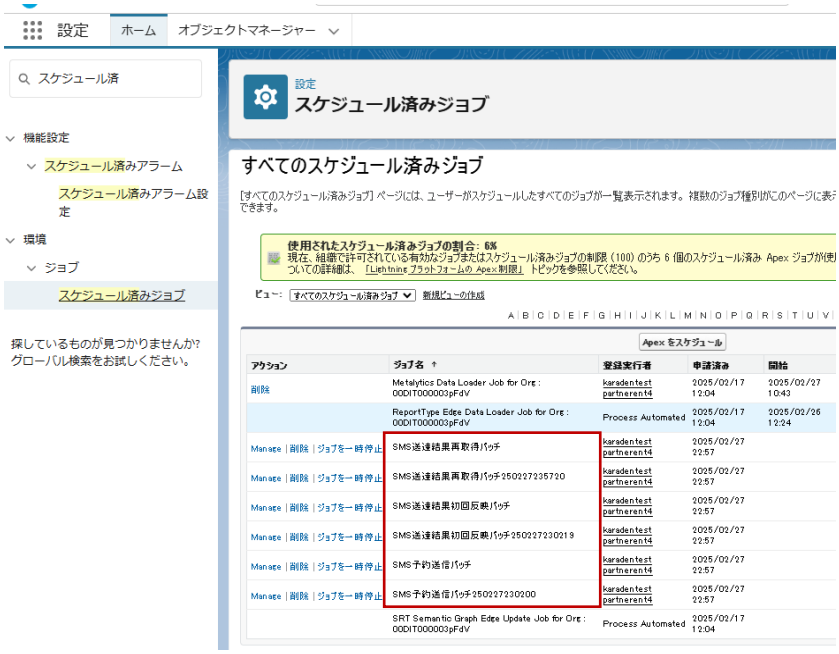


③ 「スケジュール済みジョブ」の確認

以下の **6 つのジョブ**が登録されていることを確認します。

- SMS 送達結果再取得バッチ
- SMS 送達結果再取得バッチ XXX(数字)
- SMS 送達結果初回反映バッチ
- SMS 送達結果初回反映バッチ XXX(数字)
- SMS 予約送信バッチ
- SMS 予約送信バッチ XXX(数字)

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.



Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

3. 問合せ先

NTTドコモビジネス X
Karaden for Salesforce サポート窓口

Mail：karaden-sf-appex@nttcoms.com

※受付時間は平日の 10:00～17:30 です

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

4. 改訂履歴

版数	改版年月日	改版内容
1.0.0 版	2024/05/23	初版
1.0.1 版	2024/06/05	体裁修正
1.0.2 版	2024/06/27	インストール手順更新
1.0.3 版	2024/12/19	本書を Salesforce 設定部分に限定
1.2.0 版	2025/03/25	V1.2 対応 フロービルダー/カスタムオブジェクト・項目
1.2.1 版	2026/01/27	社名を変更
1.2.2 版	2026/06/30	コーポレートロゴ変更
1.2.3 版	2026/10/09	Web コンソールからバッチ設定を行う手順を記載追加

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.

『Karaden for Salesforce
初期設定マニュアル』

発行元：NTTドコモビジネス X 株式会社

※本書は、法律の定める場合および権利者の承諾のある場合を除き、
いかなる方法においても複写・複製をすることはできません。

Copyright © NTT DOCOMO BUSINESS X, Inc.